

第七號

地租條例別冊ノ通制定シ明治六年即第七號  
或號布告地租改正條例及地租改正ニ関スル  
他本條例ニ抵觸スルモノハ廢止ス

但東京府管轄伊豆七島小笠原島函館縣  
沖繩縣札幌縣根室縣ハ當分従前ノ通ナルヘシ

明治十七年三月十五日

太政大臣三條實美

大藏卿 松方正義

地租條例

第一條 地租ハ地價百分ノ二箇年ヲ以テ一年ノ定率トス

但本條例ニ地價ト稱スルハ地券ニ掲ケタル價額ヲ謂フ

第二條 地租ハ年ノ豊凶ニ由リテ増減セス

第三條 有租地ヲ區別シテ二類ト為ス

第一類 田畑、郡村宅地、市街宅地、鹽田、鑛泉地、

第二類 池沼、山林、原野、雜種地、

第一類中又ハ第二類中ノ各地目變換スルモノヲ地

目變換ト謂フ

第二類地ニ勞費ヲ加ヘ第一類地ト為スモノヲ開墾ト謂フ

第一類地又ハ第二類地ノ山崩川欠押堀石砂入川成海成湖水成等ノ如キ天災ニ罹リ地形ヲ變シタルモノヲ荒地ト謂フ

第四條 公立學校地鄉村社墳墓地用惠水路溜池隄塘井溝及公衆ノ用ニ供スル道路ハ地租ヲ免ス

第五條 土地ノ丈量ハ曲尺ヲ用ヒ六尺ヲ間ト為シ方丈間ヲ以テ歩ト為シ三拾歩ヲ畝ト為シ拾畝ヲ段ト為シ拾段ヲ町ト為ス但市街宅地ハ方丈間ヲ以テ坪ト為シ坪ノ拾分丈ヲ合ト為シ合ノ拾分一ヲ勺ト為ス

第六條 開墾銀下年期明荒地免租年期明ニテ地價ヲ定ルトキ又ハ地目變換スルトキハ地

盤ヲ丈量ス

第七條 地價ハ地目變換又ハ開墾ニ非サレハ修正セス

第八條 一般ニ地價ノ改正ヲ要スルトキハ前以テ其旨ヲ布告スヘシ

第九條 地價ハ其地ノ品位等級ヲ詮定シ其所得ヲ審査シ尚ホ其土地ノ情況ニ應シ之ヲ定ム

第十條 地目變換スルトキハ之ヲ地方廳ニ届出ヘシ地價ハ其地ノ現況ニ依リ之ヲ修正ス

第十一條 免租地ヲ有租地ト為サントスルトキハ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ地價ハ其地ノ現況ニ依リ之ヲ定ム

第十二條 地租ハ地券記名者ヨリ徵收ス但質入ノ

土地ハ其質取主ニ於テ之ヲ納ムヘシ

第十三条 有租地ヲ公立學校地鄉村社地墳墓地ト為ストキ其地租ハ許可ヲ得シ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免シ用惡水路溜池隄塘井溝公衆ノ用ニ供スル道路ト為ストキ其地租ハ其地工事著手ノ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免ス

免租地ヲ有租地ト為ストキ其地租ハ許可ヲ得シ翌月分ヨリ月割ヲ以テ徵收ス

第十四条 地目變換ハ其地價修正ノ年ヨリ修正地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十五条 開墾地ハ鍬下年期明荒地ハ免租年期明ノ翌年分ヨリ更定地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十六条 開墾ヲ為サントスルトキハ地方廳ノ

許可ヲ受クヘシ開墾地ハ十五年以内ノ鍬下年期ヲ許可ス但年期中ハ原地價ニ依リ地租ヲ徵收ス

第十七条 鍬下年期中當初ノ目的ヲ改メ他ノ地目ニ變スルトキハ之ヲ地方廳ニ届出ヘシ此場合ニ於テハ直ニ其地價ヲ定メ又ハ更ニ鍬下年期ヲ許可スルコトアルヘシ

第十八条 鍬下年期明ニ至リ開墾ノ成功ニ至ラサルモノハ更ニ十五年以内鍬下継年期ヲ許可ス

第十九条 鍬下年期明ノトキハ其地價ヲ修正ス若シ其開墾當初ノ目的ニ違セス他ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ修正ス

第二十条 荒地ハ其被害ノ年ヨリ十年以内免租

年期ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第二十一条 免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ

復シ難キモノハ十年以内七割以下ノ低價年期

ヲ定メ年期明ニ至リ原地價ニ復ス

第二十二条 低價年期明ニ至リ尚ホ原地價ニ復シ難

キモノ及ビ免租年期明ニ至リ原地目ニ復セス他

ノ地目ニ變スルモノハ其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定

ム

第二十三条 免租年期明ニ至リ尚ホ荒地ノ形状ヲ存

スルモノハ更ニ十年以内免租繼年期ヲ定ム其

年期明ニ至リ原地價ニ復シ難キモノハ第二十

一条茅二十二条ニ依テ處分ス

第二十四条 川成海成湖水成ニシテ免租年期明ニ

至リ原形ニ復シ難キモノハ更ニ二十年以内免租

繼年期ヲ許可ス其年期明ニ至リ尚ホ原地目

ニ復セス他ノ地目ニ變セサルモノハ川海湖ニ歸

スルモノトシ其地券ヲ還納セシム

第二十五条 土地ヲ欺隠シ地租ヲ逋脱スル者ハ四圓

以上四十圓以下ノ罰金ニ處シ現地目ニ依リ地價

ヲ定ム欺隠年間ノ地租ヲ追徴ス但地租改正ノ

初年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十六条 第十一條茅十六條ニ違犯スル者ハ三圓

以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其免租地ヲ有租地

ト為シ又ハ開墾ヲ為スコトヲ許可スヘキモノハ

現地目ニ依リ地價ヲ定メ其地租増額ヲ追徴ス

但地租改正ノ初年以前ニ溯ルコトヲ得ス

第二十七條 第十條第十七條ニ違犯スル者ハ一圓以  
上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十八條 第二十五條以下ノ所犯借地人小作人ノ  
所為ニ係リ所有主其情ヲ知ラサルトキハ其借地  
人小作人ヲ罰シ地租ハ所有主ヨリ追徴ス

第二十九條 第二十五條第二十六條第二十七條第二  
十八條ノ刑ニ當ル者自首スルトキハ其罰金科料  
ヲ免ス但其追徴スヘキ地租ハ仍ホ之ヲ納メシム

地所名稱區別

明治七年十一月七日

第百貳拾号布告

明治六年<sup>三月</sup>第百拾四号布告地所名稱區別左ノ通改定候  
條此旨布告候事

官有地

第一種 地券ヲ發セズ地租ヲ課セズ地方稅ヲ賦セサ  
ルヲ法トス

本文地方稅ノ文字十二年第三  
十四号布告改正ニ拠ル下同

一 皇宮地 皇居離宮等ヲ云

一 神地 伊勢神宮山陵官同帯社府縣社  
及ニ民有ニヤラサル社地ヲ云

第二種 地券ヲ發シ地租ヲ課セズ地方稅ヲ賦セ

サルヲ法トス尤府縣所用ノ地ハ地券ヲ發  
セズ唯帳簿ニ記入ス

賦セサルノ文字ハ十二年  
三十四号布告改正ニ拠ル

此項八年第百十四号布告  
ヲ以テ改正又本文地方稅ヲ